

市では、より良いまちを目指し、事務員や技術者などさまざまな職種の職員が個性やスキルを生かしてみらいに向かって歩み続けています。あなたもその一員として枚方市のみらいを積み上げていきませんか。募集職種・人数などの

詳細は市ホームページ(右記コード)参照。

☎人事課 ☎841・1281、☎846・2271



枚方市職員採用試験

(令和9年4月採用)



保育士



ひらかた小規模保育施設
水迫ありさ

4月から小規模保育施設で1歳児と2歳児・約20人の子どもたちの保育などを行っています。子どもの主体性を大事にする枚方市の保育方針に共感し、入職を決めました。幅広い年齢層の保育士がおり、さまざまな関わり方や考え方に触れられるのが魅力です。子どもたちが成長した喜びを保護者と分かち合えた時は本当にうれしいですね。悩みながら、でも楽しく！一緒に子どもたちの成長を見守りませんか。

みらいの私は…

子どもと保護者にとつての
居場所になれるような職員

心理士



市立ひらかた子ども発達支援センター
辻井優理子

市内の保育所(園)、認定こども園、幼稚園などを訪問し、発達相談に応じえています。以前働いていた児童養護施設では主に子どもとの関わりでしたが、市役所では保護者など支援を必要としている全市民が対象となるので、力になれる支援の幅が広がったなど感じます。積極的に研修にも参加でき、学び続けられる環境が整っているところも魅力です。皆さんと一緒に枚方市のみらいを背負っていただけることを楽しみにしています!

みらいの私は…

相談したいときに
思い出してもらえる職員

土木
技術者



土木政策課
佐藤佑我

市内の大きな道路や、新名神の開通などさまざまな道路計画に携わりたいと考え枚方市に入職しました。昨年度までの3年間は2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)協会に派遣され、まちづくりに欠かせない計画の調整などを国際規模で経験し、自分自身のスキルアップにもつながったと思います。「道幅が広くなって通りやすくなった」などの声を聞くと本当にうれしいですね。まちづくりに興味がある人、待っています!

みらいの私は…

住みたい
訪れたいと思う
まちをつくる職員

採用スケジュール

- 6月27日 募集要項公表
市ホームページで公表
(市役所本館・別館受付、各支所などでも受け取り可)
- 7月3日～14日正午 応募受付
- 7月下旬 一次試験
適性検査(SCOA)
- 8月中旬 二次試験
集団討論
- 9月中旬 最終試験
個別面接・小論文
- 9月下旬 合格発表

令和9年4月 採用

※二次試験の内容は職種により一部異なります。令和9年3月に高校を卒業する人などを対象とした試験は秋以降に実施予定です。

職員採用セミナー

申し込み受付中
7月6日 正午締め切り

7月8日(水) 午後2時
先着180人

職員が業務内容や職場の雰囲気などについて話し、個別で質問に答えます。

場所
総合文化芸術センター別館
申込方法
市ホームページの専用フォームで人事課へ。



ワークライフバランス 推進中!

年次有給休暇取得日数… 平均15.1日
育児休業取得率 …… 女性100%
男性76.9%

府内の自治体で唯一!

健康経営優良法人 2026・大規模法人部門に認定(4年連続)!



市が認められたのは…従業員の健康保持・増進

に積極的に取り組む法人などを顕彰する経済産業省が創設した制度。

データで見る枚方市職員

職員の割合… 女性50.2%
男性49.8%

平均年齢… 43.8歳
給与… 平均で年676万円

大学卒(事務職)の初任給は月約26.6万円。

※正職員のみデータです

事務員



契約検査課
神山遼

主に事業者への委託業務の発注をしています。日常生活の中では見えない内部の仕事なので、知っていた市役所のイメージとのギャップはありましたが、関わった業務がまちの中で形になっているのを見るとやりがいを感じます。職場は明るくコミュニケーションも活発で、業務をカバーし合える協力体制が整っており、休みも取りやすいです。枚方市出身として温かなまちの良さも感じています。あなたもぜひこのまちをつくる一員に!

みらいの私は…

誰でも親しみやすく
話しかけやすい職員

事務員
(福祉資格)



生活福祉課
大西祥子

社会福祉士の資格を生かし、生活保護費の支給や自立に向けた相談支援などを生活保護制度に基づき行っています。学生時代の福祉のアルバイト経験から、行政にしかできない支援があると感じて枚方市に入職しました。部署の異動で高齢や障害、児童福祉などさまざまな福祉分野の仕事を経験できるほか、福祉以外の知識を持つ人とも協働できるのが他にはない魅力です。あなたの経験や知識を枚方市で生かしませんか。

みらいの私は…

市民の当たり前
日常を支えるために
学び続けられる職員